令和３年度　全国学力・学習状況調査

教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立東中学校長

令和３年５月２７日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は３年生で、国語と数学の２教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、生徒の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部分であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教　科	全国平均 正 答 率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国　語	６４．６%		○			
数　学	５７．２%	○				

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領　域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
話すこと･聞くこと	７９．８％				○	
書くこと	５７．１％		○			
読むこと	４８．５％		○			
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	７５．１％		○			

【考　察】

○　「話すこと・聞くこと」の領域では、全国平均をやや上回る結果となりました。話し合いの場面を想定した設問において、話題の内容や方向性、質問の意図を捉えることはできましたが、話し合い中の周りの意見をもとに、自分の意見をまとめることに課題が見られました。今後は、相手の話をよく聞くことを大切にし、状況や場面に応じた話し合い活動を取り入れることにより、表現力の向上を図っていきます。

○　条件付きの記述問題に対する無回答率が高かったです。授業や校内のテストで感想文や作文など、自分の考えが読み手に伝わるように工夫して文章を書く機会を設けており、少しずつ書けるようになっている生徒も増えてきています。今後はさらに、目的や意図に応じた表現を記述する活動を取り入れ、書く力を伸ばしていきます。

【数学：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領　域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と式	６４．９％	○				
図　形	５１．４％	○				
関　数	５６．４％	○				
資料の活用	５３．８％	○				

【考　察】

○　各領域で、用語の意味やその使い方などに関する問題の正答率が低かったです。今後は、用語の意味を正しく理解できるよう定着させた上で、適切に活用する言語活動の場面を多く設定していきます。また、授業時間の中に自分の力で考える時間を確保した上で、基礎的・基本的な学習内容の定着を図っていきます。

○　「図形」の領域では、なぜそのような結果になるのかを説明・証明することに課題が見られる生徒が多く、無回答率も高かったです。図形の問題であっても、問題文を正しく読み取ることが大切であることから、印をつけながら読む工夫をさせるなど、問題文を丁寧に読む習慣を身につけさせていきます。説明や証明を筋道を立てて書くことができるよう、条件を変えた問題に取り組ませたり、生徒同士の学び合いや習熟度別の課題設定などをしたりして力を高めていきます。